

県内先進事例調査の実施について

1 趣 旨

「県民ボランティア活動の促進のための推進に関する基本方針」の見直し作業の参考に資するため、県内事例の調査を行う。

2 調査日時

平成24年6月～7月（別途 日程調整後、委員にご案内）

1日または2日（県庁から公用車（ワゴン車）で移動）

3 調査の視点

- ・ 人口減少、少子高齢化を見据えた地域づくり
- ・ 担い手の不足に対応した、協働、ネットワークの仕組み
- ・ 行政主導でなく、地域主体のボランティアな取り組み

4 調査先（案）

（1）一般社団法人「ノオト」と丸山地区の取り組み（篠山市）

- ・ 丸山地区は篠山市中心部から北東へ約5キロ。
- ・ 5世帯19人が居住。12軒中7軒が空き家。高齢化率32%。
- ・ 空き家を農家民宿、レストランに改造し、滞在型の交流を推進。H24年3月にNPO法人化。
- ・ 篠山市のまちづくりNPO、一般社団法人「ノオト」がプロデュース。
- ・ 「ノオト」は、他に市内地縁系団体の活動を複数支援。

（2）NPO法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク（豊岡市）

- ・ 地域で個別課題に取り組む団体がネットワーク組織を立ち上げ、H24年3月にNPO法人化。
- ・ 主なプロジェクトは 引きこもり・不登校支援、地産地消など食農教育の推進 食と農を考える環境学習の支援、東日本大震災の支援 など。
- ・ 「いのちへの共感に満ちたまちづくり」を進める豊岡市にあって、地縁組織の担い手不足を補う中核的な担い手として、市も積極的に支援。